常染色体潜性多発性囊胞腎診療（ARPKD）診断基準（案）

下記①に加えて②の1項目以上を認める場合にARPKDと診断する．

① 皮髄境界が不明瞭で腫大し高輝度を示す典型的

　 超音波画像所見

② a）両親に腎囊胞を認めない（特に30歳以上の場合）

　 b）臨床所見，生化学検査，画像検査などにより確認される肝線維症

　 c）ductal plateの異常を示す肝臓病理所見

　 d）病理学的にARPKDと確認された同胞の存在

　 e）両親の近親婚

＊上記を満たさなくても，遺伝学的検査でARPKDと診断された患者およびその同胞でARPKDと考えられる症候を示す患者はARPKDと診断する．

＊病理学的検査，遺伝学的検査にて他の疾患と診断された患者は除外する．